

最近の経済動向

平成30年10月号

北海道の景気動向(平成30年8月の経済指標を中心として)

持ち直している

※「北海道胆振東部地震」に関し、観光分野等での影響が懸念されることから、今後、各分野の動向を注視していく

■ 鉱工業生産動向

P 1 生産活動(鉱工業生産指数)
弱めの動きとなっている

■ 需要動向(消費・投資)

P 2 個人消費(百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額、
P 3~4 専門量販店販売額、新車登録台数)
回復しつつある

P 4 住宅建設(新設住宅着工戸数)
減少基調の中、一服感がみられる

P 4~5 公共工事(公共工事請負金額)
減少している

P 5 観光(来道者数)
改善が進んでいる

P 6 輸出入(輸出入額)
輸出額、輸入額とも前年を上回った

■ 企業倒産

P 6 企業倒産(件数、負債総額)
倒産件数、負債総額とも減少した

■ 雇用動向

P 7 求人・求職(月間有効求人数・求職者数、有効求人倍率)
改善が進む中、人手不足感がみられる

P 7 失業(完全失業者数、完全失業率)

■ 物価動向

P 7 物価(消費者物価指数)
消費者物価指数は前年を上回った

■ 企業の業況感

P 8 企業経営者意識調査
前期から下降している

■ 企業情報

P 9 企業のみなさまから伺いました

■ 地域の経済動向

P 11 道南地域、道央地域、道北地域、オホーツク地域、十勝地域、釧路・根室地域

■ 景気動向指数

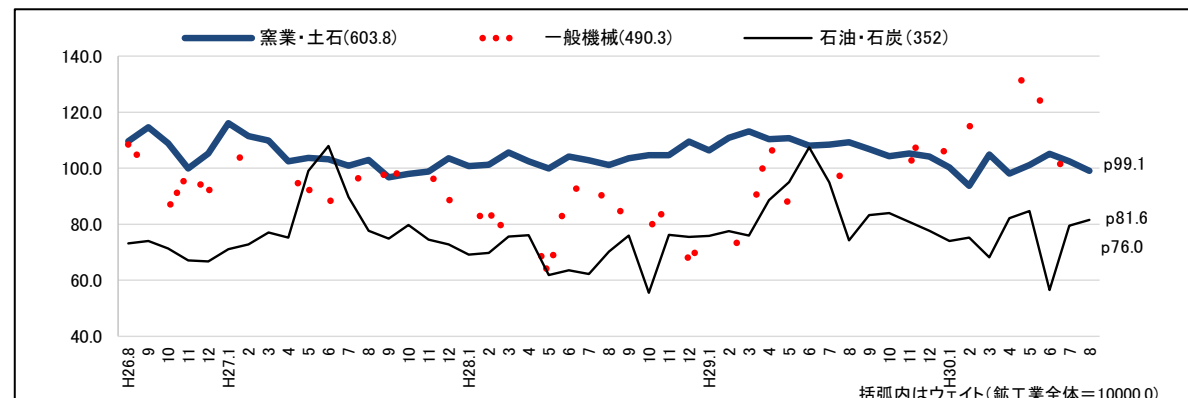
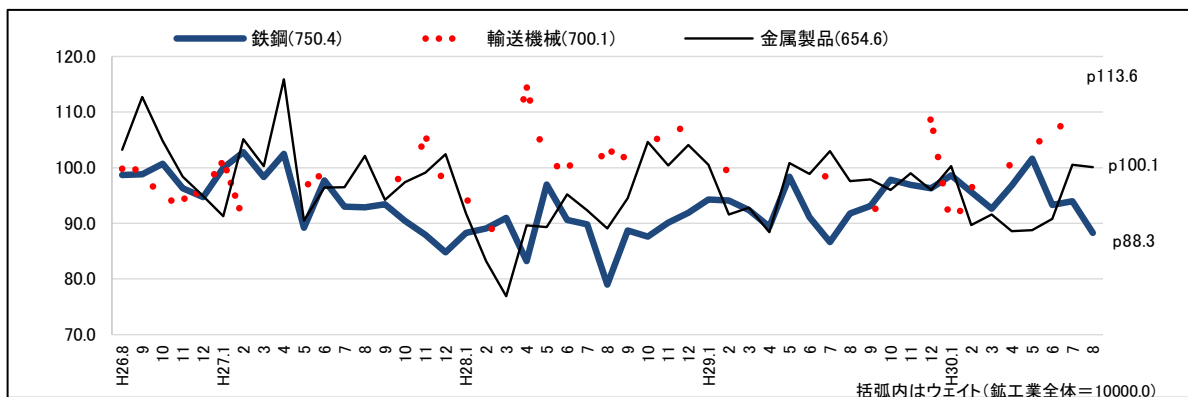
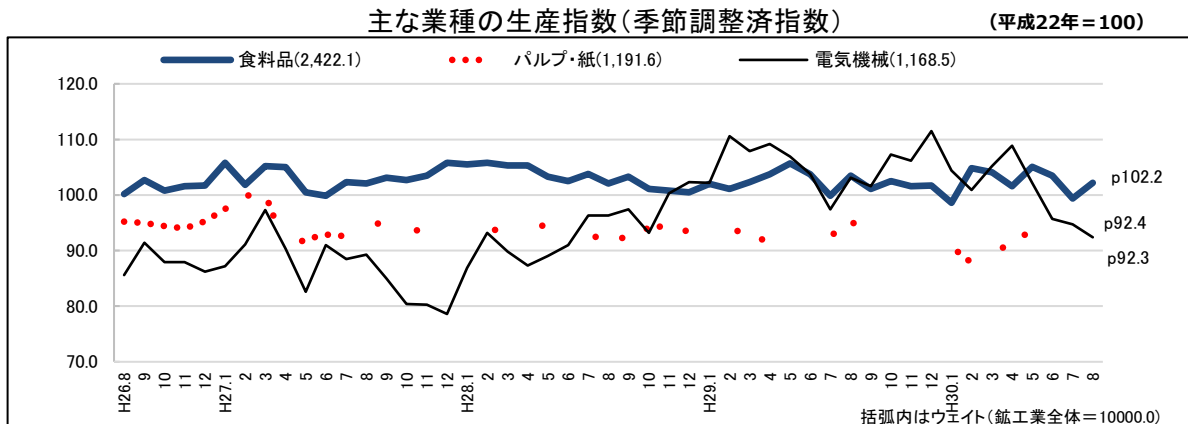
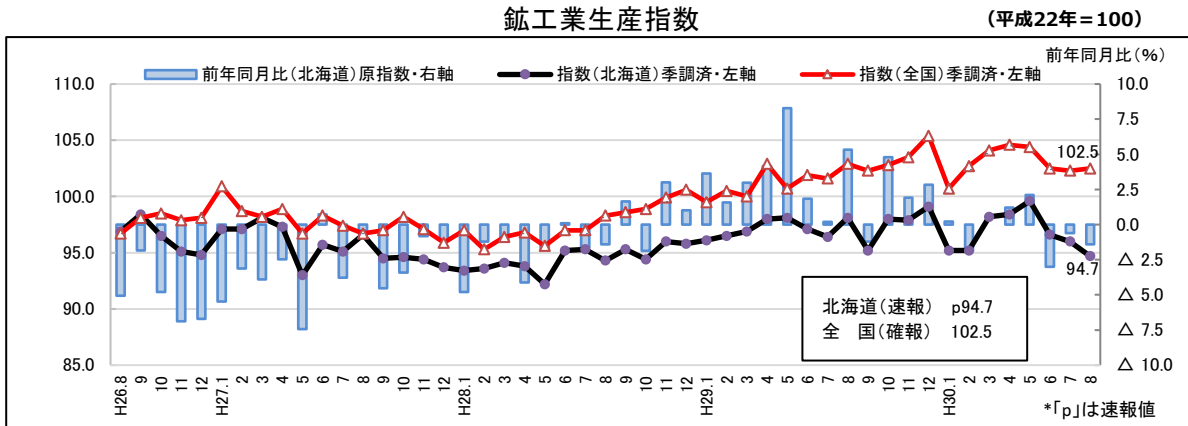
P 17 北海道の景気動向指数

北海道経済部経済企画局経済企画課

■生産活動～弱めの動きとなっている

鉱工業生産指数（8月）

鉱工業生産指数(季節調整済)は、94.7で前月比△1.4%(3か月連続の低下)であり、原指数による前年同月比は、△2.9%(2か月ぶりの低下)となった。業種別にみると、一般機械工業等9業種が前月比低下、石油・石炭製品工業等の7業種が前月比上昇となった。



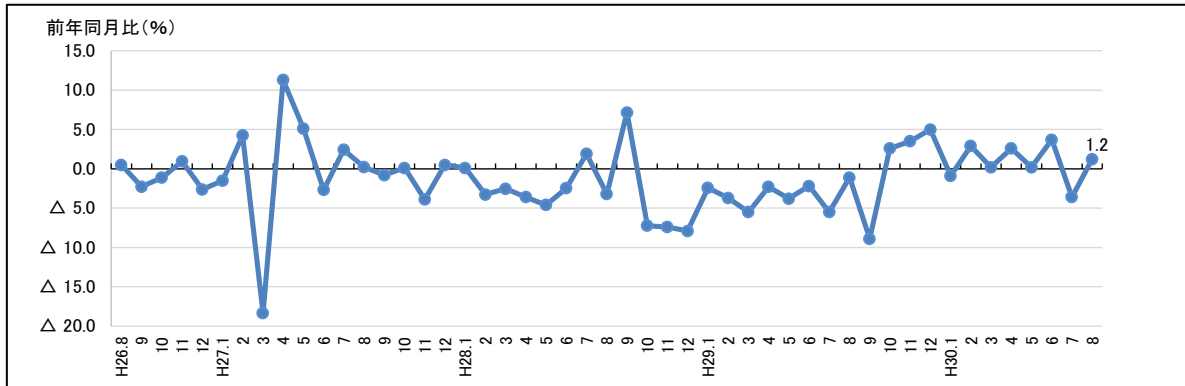
(資料: 北海道経済産業局)

■個人消費～回復しつつある

百貨店販売額(全店ベース)(8月)

百貨店の販売額は、153億円で前年同月比1.2%の増加となり、2か月ぶりに前年を上回った。品目別にみると、衣料品は前年を下回ったものの、身の回り品、飲食料品、その他は前年を上回った。

百貨店販売額の前年同月比【全店ベース】

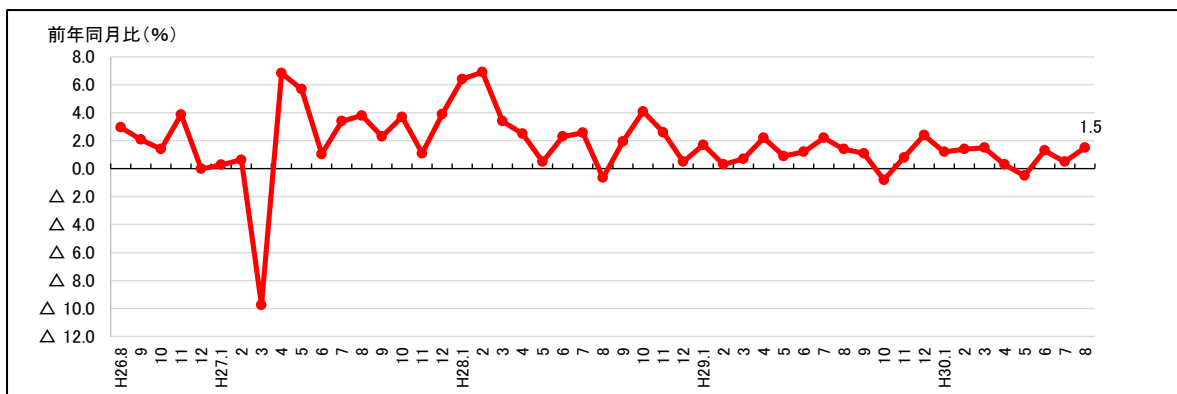


(資料：北海道経済産業局)

スーパー販売額(全店ベース)(8月)

スーパーの販売額は、648億円で同1.5%の増加となり、3か月連続で前年を上回った。品目別にみると、衣料品、その他は前年を下回ったものの、身の回り品、飲食料品は前年を上回った。

スーパー販売額の前年同月比【全店ベース】

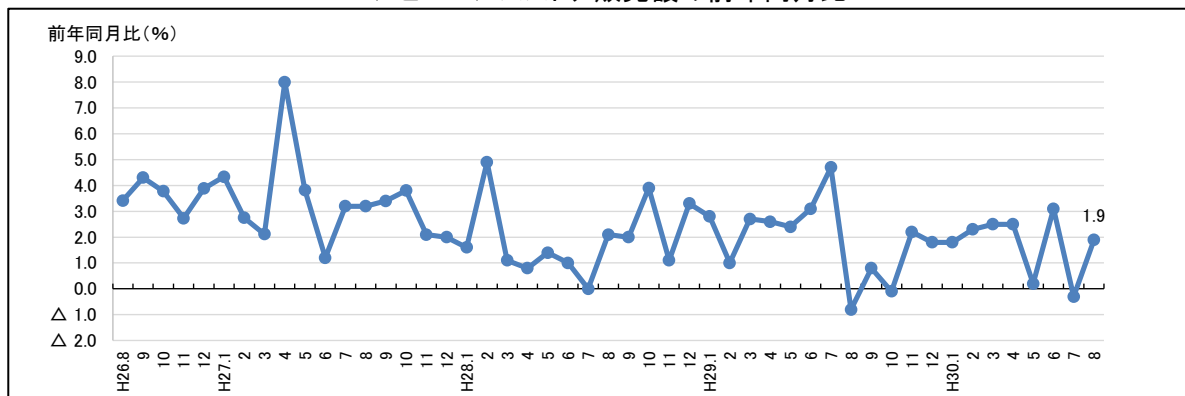


(資料：経済産業省)

コンビニエンスストア販売額(8月)

コンビニエンスストア販売額は、519億円で前年同月比1.9%の増加となり、2か月ぶりに前年を上回った。

コンビニエンスストア販売額の前年同月比

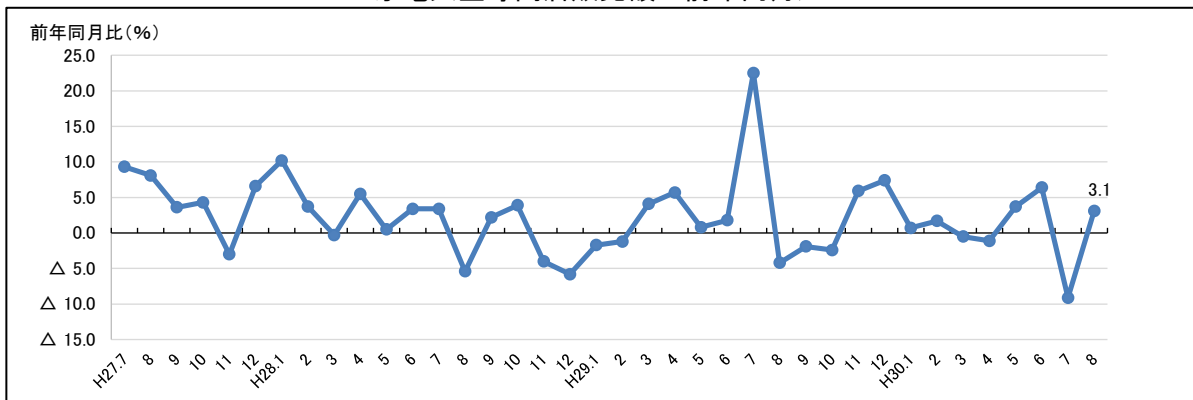


(資料：経済産業省)

家電大型専門店(8月)

家電大型専門店販売額は、114億円で前年同月比3.1%の増加となり、2か月ぶりに前年を上回った。

家電大型専門店販売額の前年同月比

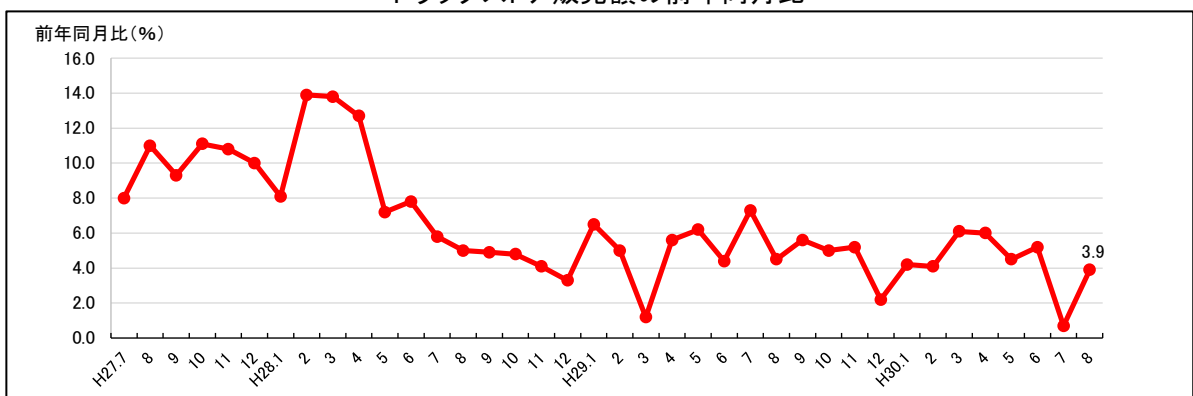


(資料：北海道経済産業局)

ドラッグストア販売額(8月)

ドラッグストア販売額は、232億円で同3.9%の増加となり、40か月連続で前年を上回った。

ドラッグストア販売額の前年同月比

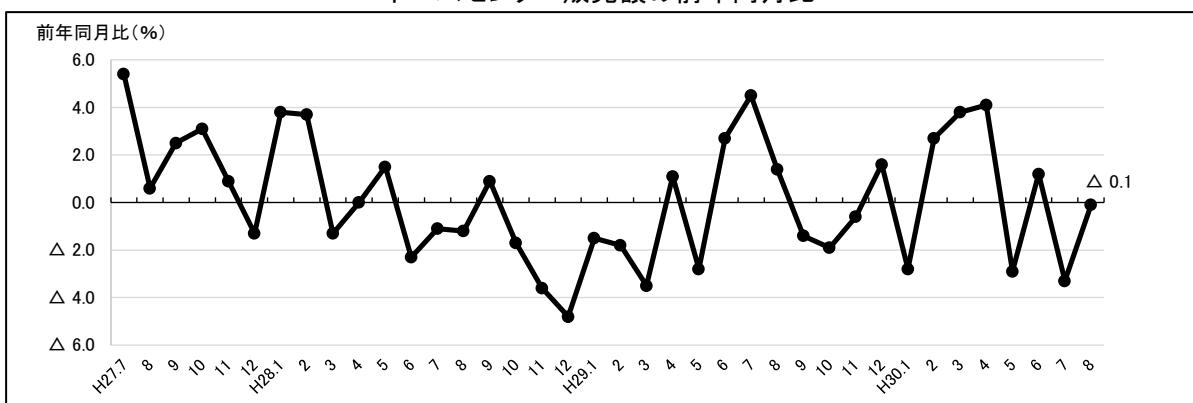


(資料：経済産業省)

ホームセンター(8月)

ホームセンター販売額は、112億円で同0.1%の減少となり、2か月連続で前年を下回った。

ホームセンター販売額の前年同月比

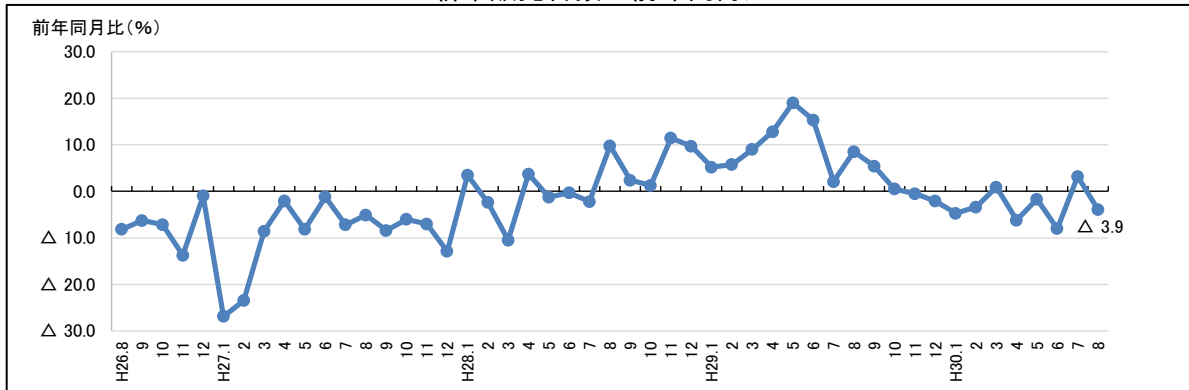


(資料：経済産業省)

新車登録台数（8月）

新車登録台数は、12,724台で前年同月比3.9%の減少となり、2か月ぶりに前年を下回った。車種別にみると、普通車は、4,375台で同4.9%の増加、小型車は、4,395台で同14.4%の減少、軽自動車は、3,954台で同0.4%の増加となった。

新車販売台数の前年同月比



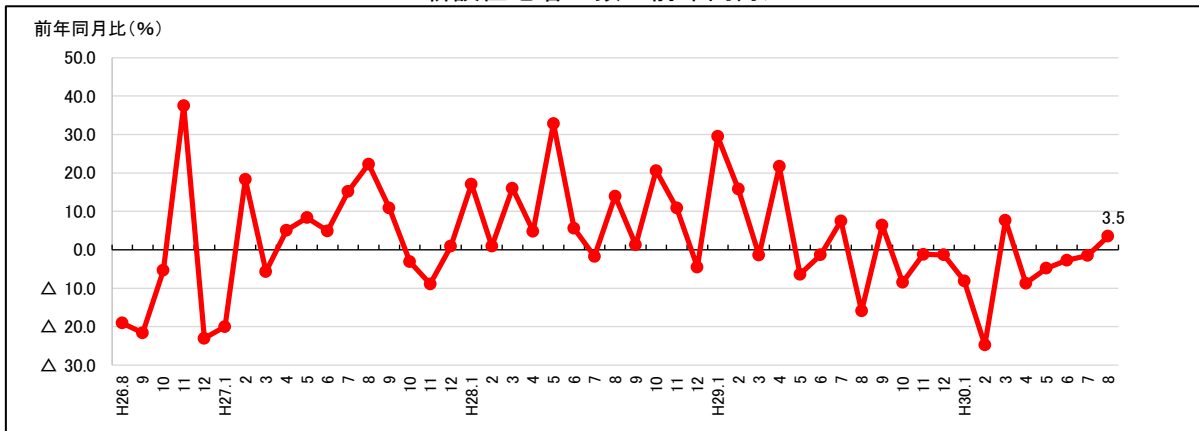
(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会調べ

■住宅建設～減少基調の中、一服感がみられる

新設住宅着工数（8月）

住宅着工数は、3,422戸で前年同月比3.5%の増加となり、5か月ぶりに前年を上回った。利用関係別にみると、持家は、1,091戸で同5.8%の減少、貸家は、1,793戸で同5.8%の増加、分譲住宅は、464戸で同19.3%の増加となった。

新設住宅着工数の前年同月比



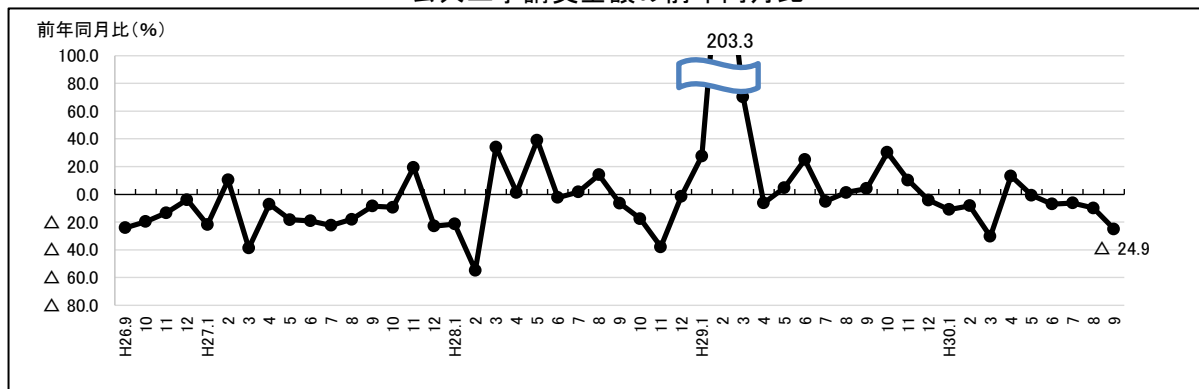
(資料：国土交通省)

■公共工事～減少している

公共工事請負金額（9月）

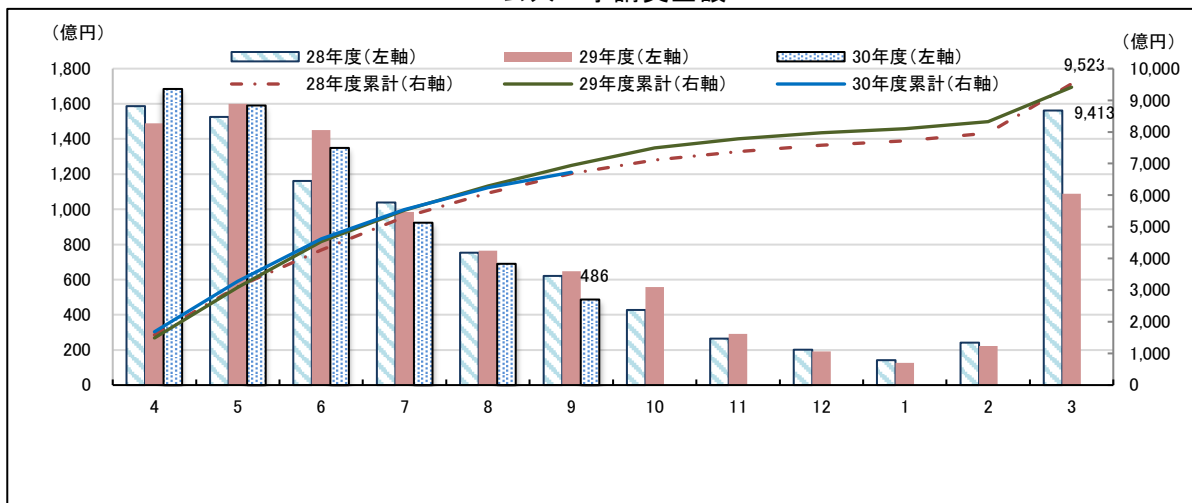
請負金額は、486億円の前年同月比24.9%の減少となり、5か月連続で前年を下回った。工事目的別にみると、生活基盤が207億円(全体の42.7%)、産業基盤が104億円(同21.6%)、治山・治水が101億円(同20.9%)、農林・水産が49億円(同10.2%)、その他が22億円(同4.6%)となっている。

公共工事請負金額の前年同月比



(資料：(株)北海道建設業信用保証)

公共工事請負金額



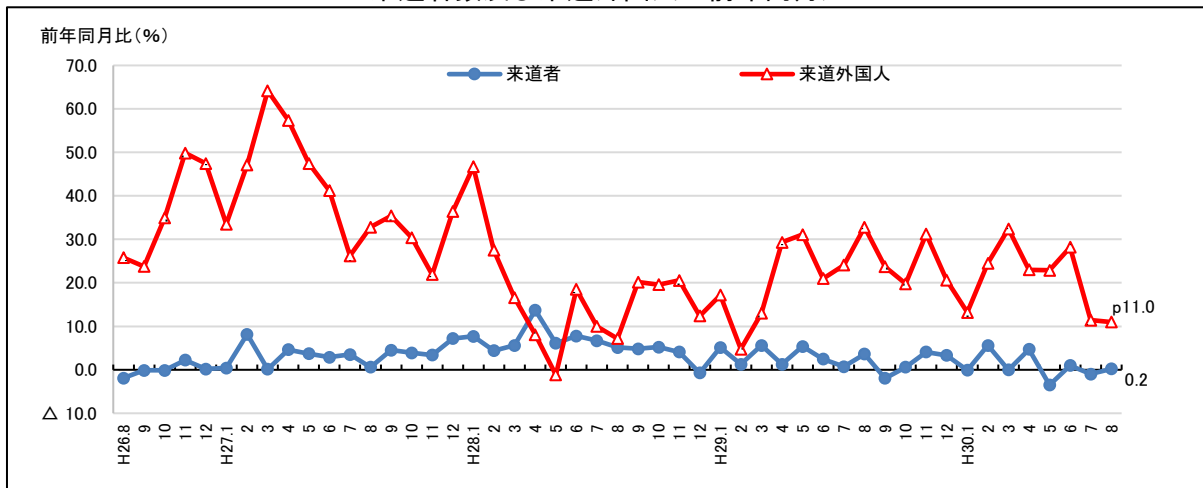
(資料：(株)北海道建設業信用保証)

■ 観光～改善が進んでいる

来道者数(8月)

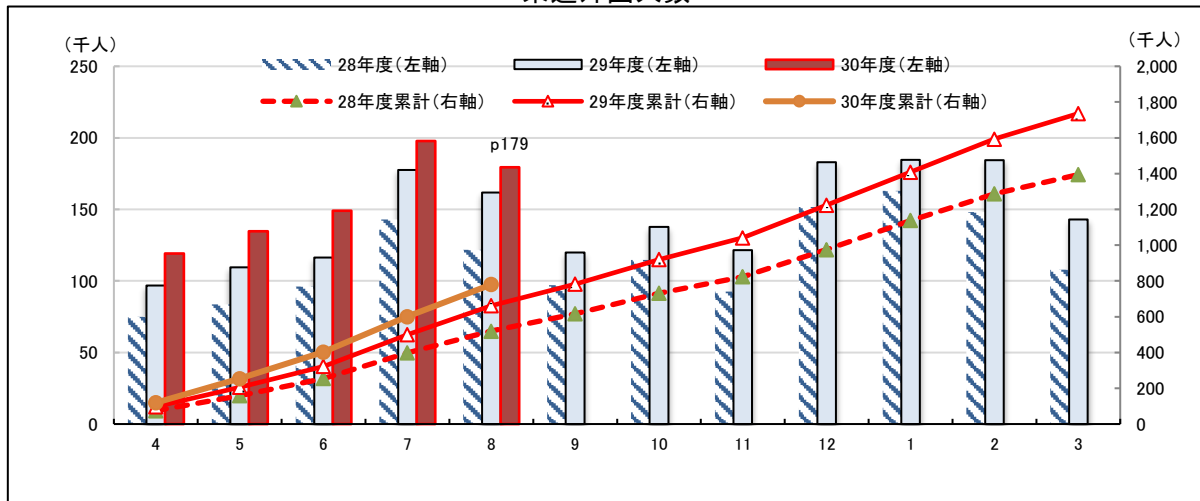
来道者数は、105万3千人で前年同月比0.2%の増加となり、2か月ぶりに前年を上回った。本道に直接入国した外国人は、17万9千人で同11.0%の増加となり、27か月連続で前年を上回った。

来道者数及び来道外国人の前年同月比



(資料：(公社)北海道観光振興機構、法務省入国管理局)

来道外国人数



(資料：法務省入国管理局)

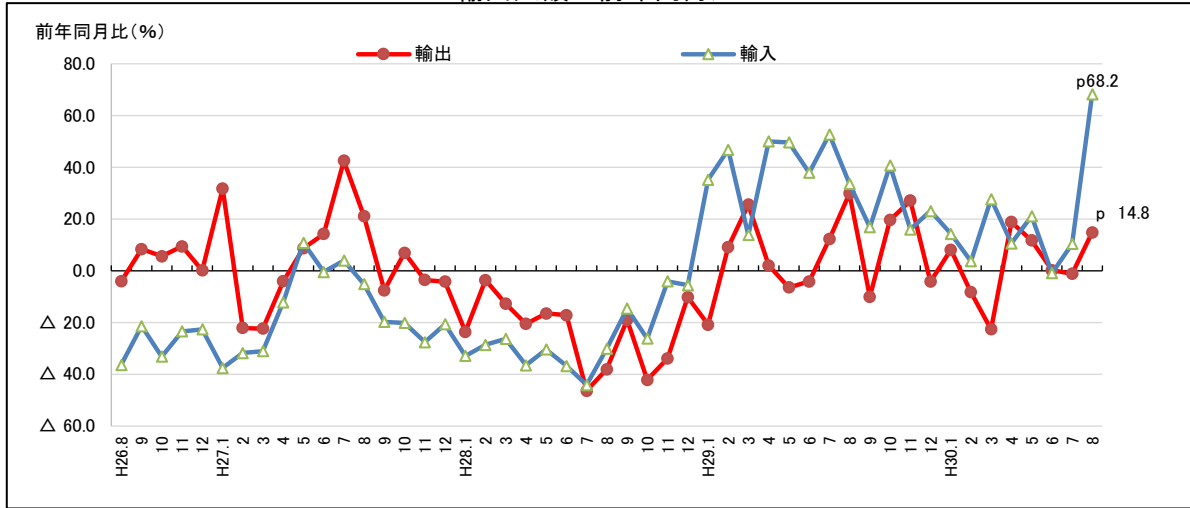
■輸出入～輸出額、輸入額とも前年を上回った

輸出入額（8月）

輸出額は、391億円で前年同月比14.8%の増加となり、2か月ぶりに前年を上回った。品目別にみると、自動車の部分品、石油製品などが減少したものの、鉄鋼、鉱物性タール・粗製薬品、一般機械などが増加した。

輸入額は、1,575億円で同68.2%の増加となり、2か月連続で前年を上回った。品目別にみると、一般機械、米などが減少したものの、航空機類、原油・粗油、石炭などが増加した。

輸出入額の前年同月比



(資料: 函館税関)

■企業倒産～倒産件数、負債総額とも減少した

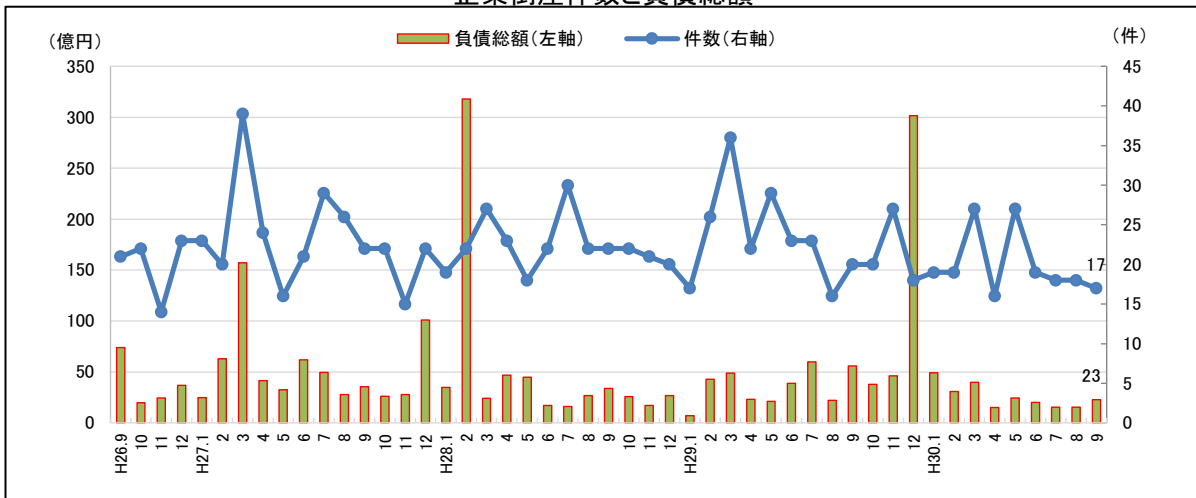
企業倒産（9月）

企業倒産件数は、17件で前年同月比15.0%の減少となり、2か月ぶりに前年を下回り、負債総額は、22億9千万円で同58.9%の減少となり、4か月連続で前年を下回った。

原因別でみると、販売不振が9件(52.9%)と半数を占めた。

企業倒産件数と負債総額

(負債額1,000万以上の企業倒産)



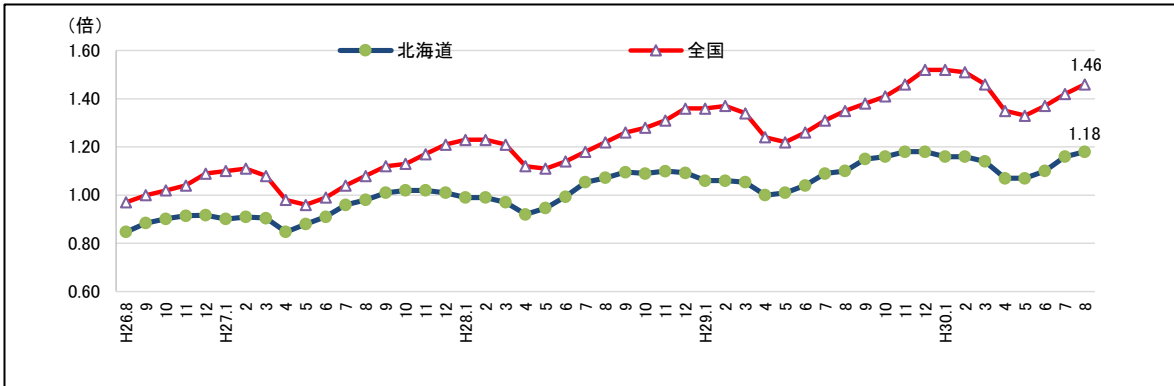
(資料: (株)東京商エリサーチ北海道支社)

■求人・求職～改善が進む中、人手不足感がみられる

月間有効求人数・求職者数・有効求人倍率（8月）

月間有効求人数は、9万3,157人で前年同月比3.6%の増加となり、103か月連続で前年を上回った。
 月間有効求職者数は、7万9,098人で同3.1%の減少となり、82か月連続で前年を下回った。
 有効求人倍率は、1.18倍で前年同月差で0.08ポイントの増加となり、103か月連続で前年を上回った。

有効求人倍率(常用)



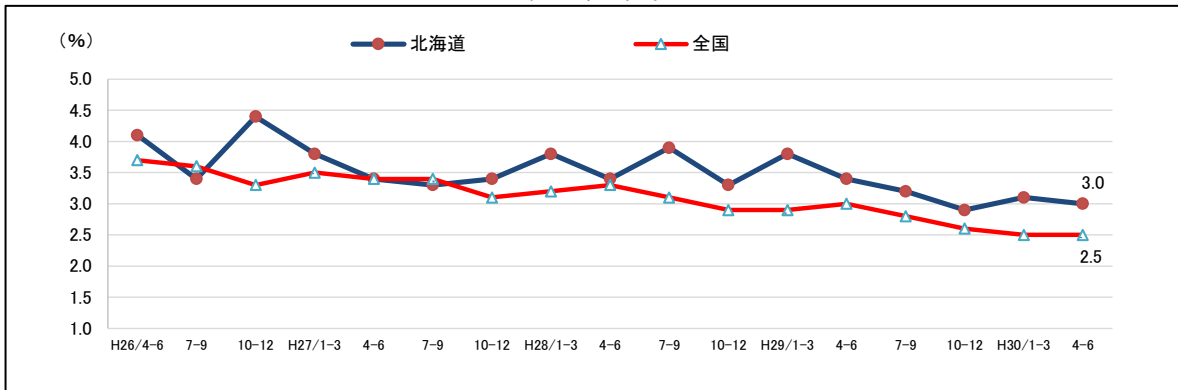
(資料:厚生労働省及び北海道労働局)

■失 業

完全失業者数、完全失業率(30年4-6月期)

完全失業者数は、8万人で前年同期と比べ、1万人減少となっている。
 完全失業率は、3.0%で前年同期と比べ、0.4ポイント低下となっている。

完全失業率



(資料:厚生労働省及び北海道労働局)

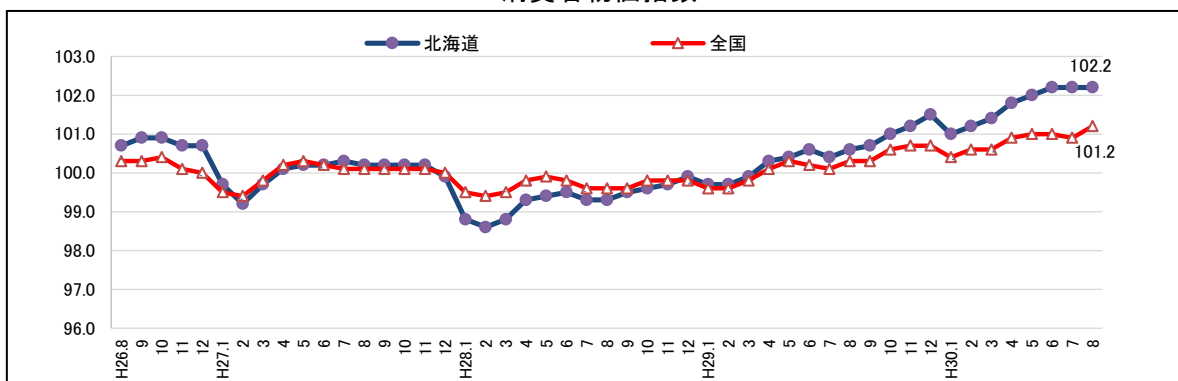
■物 価～消費者物価指数は前年を上回った

消費者物価指数(生鮮食品除く)(8月)

消費者物価指数は、102.2で前年同月比1.6%の上昇となり、21か月連続で前年を上回った。

消費者物価指数

(平成27年=100)



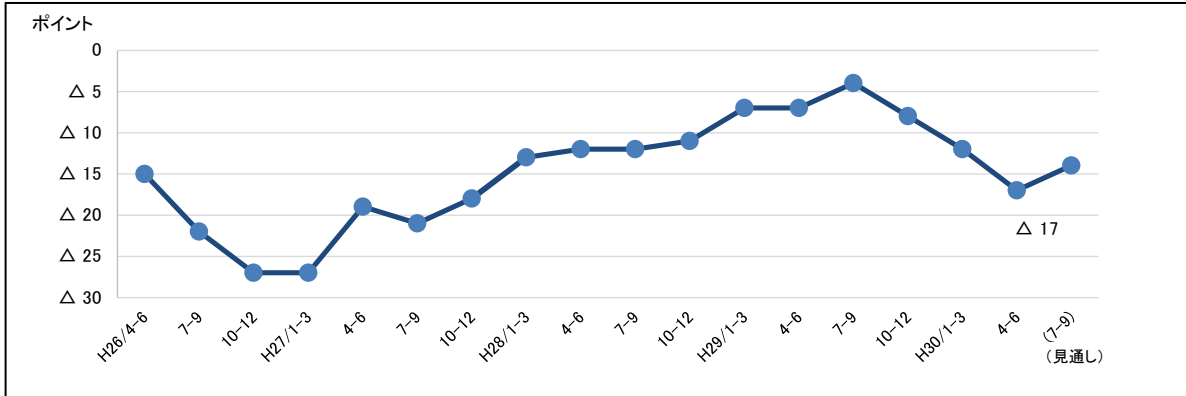
(資料:総務省)

■企業の業況感

企業経営者意識調査（30年4-6月期）

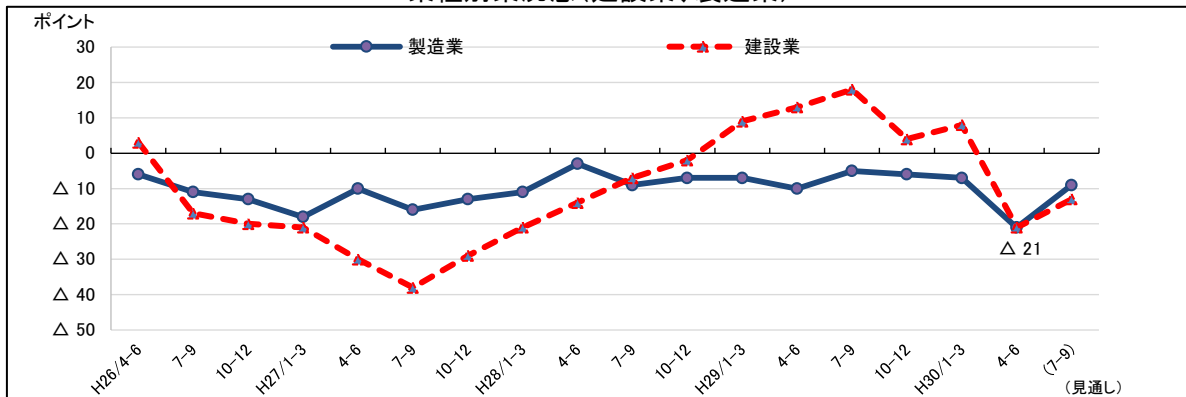
- 今期の業況感BSIは、△17で前期から5ポイント下降した。
- ・業種別では、卸売・小売業、サービス業で上昇、建設業、製造業、運輸業で下降した。
 - ・地域別では、道南、道央で上昇、道北、オホーツク、十勝、釧路・根室で下降した。

企業の業況感の推移



(資料:北海道)

業種別業況感(建設業、製造業)



(資料:北海道)

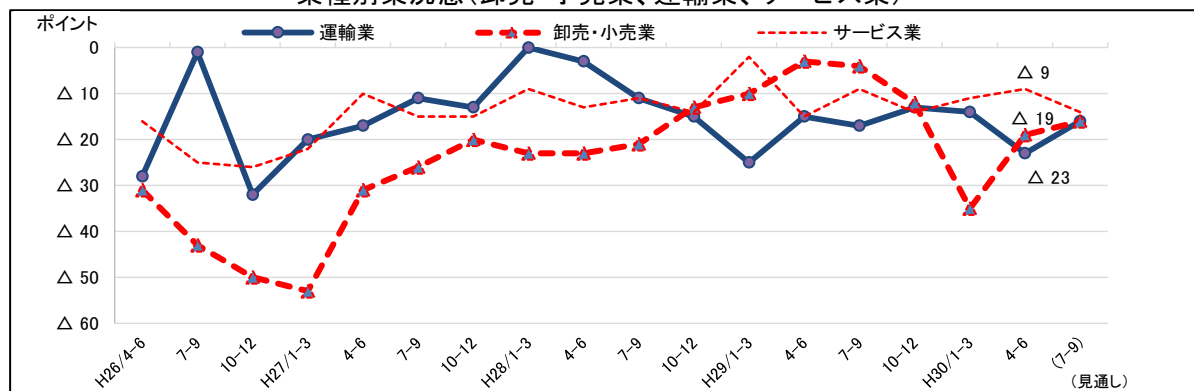
【建設業】 29ポイント下降 (前期 + 8 → 今期 △ 21)

- ・土木工事業や建築工事業、電気工事業がマイナスに転換
- ・一般土木建築工事業や舗装工事業、電気通信・信号装置工事業でマイナス幅が拡大

【製造業】 14ポイント下降 (前期 △ 7 → 今期 △ 21)

- ・セメント・同製品製造業や建設用・建築用金属製品製造業、一般産業用機械・装置製造業がマイナスに転換
- ・水産食料品製造業や農業用機械製造業などでマイナス幅が拡大

業種別業況感(卸売・小売業、運輸業、サービス業)



【卸売・小売業】 16ポイント上昇 (前期 △ 35 → 今期 △ 19) (資料:北海道)

- ・化学製品卸売業や鉄鋼製品卸売業などでプラス幅が拡大
- ・農畜産物・水産物卸売業、建築材料卸売業、自動車小売業などでマイナス幅が縮小

【運輸業】 9ポイント下降 (前期 △ 14 → 今期 △ 23)

- ・沿海海運業がマイナスに転換
- ・一般乗用旅客自動車運送業や一般貸切旅客自動車運送業、倉庫業などでマイナス幅が拡大

【サービス業】 2ポイント上昇 (前期 △ 11 → 今期 △ 9)

- ・産業用機械器具賃貸業や産業廃棄物処理業、食堂・レストランなどでプラス幅が拡大
- ・旅館・ホテル業やソフトウェア業がマイナスに転換

[企業情報]

□企業のみなさまから伺いました

◆百貨店（道央地域）

【大型台風と地震が売上に大きく影響した】

9月は、大型台風21号と北海道胆振東部地震（以下、地震）の発生により、閉店や営業時間の短縮を余儀なくされたため、客足が鈍り、売上に大きく影響した。また、インバウンド売上は堅調に推移していたが、地震発生後は来店客数が減少しているため、今後の売上に影響が予想される。

ふっこう割の効果が出てくるまでには時間がかかると思うが、特にインバウンドについては早期に回復してもらいたい。

◆スーパー（道央地域）

【地震の影響があったものの売上は前年以上】

9月は、6日未明に発生した北海道胆振東部地震や停電の影響で、地震発生直後は営業時間短縮を余儀なくされたが、通常営業となっても牛乳など、一部の商品が店頭に出揃うまでには時間を要した。

地震の影響で、コーヒーや酒類など、嗜好性の強い商品・食品は伸び悩んだが、逆に常温で保存できる缶詰、レトルト、カップ麺などの保存性の強い商品が好調となった。

他にも、豊漁などで単価が下がり、買いやすくなった水産物、天候不順などの影響で単価が上がったが、点数が前年並みとなった野菜類、税率引き上げ前の駆け込み需要により好調となったタバコなどの要因により、9月の全体の売上は、前年より伸ばすことができた。

◆コンビニエンスストア（道央地域）

【地震の影響で売れ筋商品に変化】

9月は、6日に発生した北海道胆振東部地震の影響が大きく、米や水などの飲料水、カップ麺、雑貨品など日持ちのする商品の売上が伸びた一方、弁当や惣菜などは停電の影響を受け、商品供給が一時滞ったことがマイナスになった。前年の売上を下回る結果となった。

【増税前の駆け込み需要】

たばこは、10月からの増税による値上げを前に、買いためなど駆け込み需要により好調だった。

【観光地では苦戦】

地震によりインバウンドなどの観光客が減少した影響により、観光地では一時的に売上が鈍化したが、回復基調にある。

◆卸売業（野菜卸売業）（道央地域）

【最近の売上状況】

平成30年度上半期の売上状況は、天候の影響を受け、前期比で1割弱減少した。

5月下旬は、低温、長雨、日照不足、8月についても長雨、低温が続き、夏らしい日が幾日だけしかなく、農作物の生育はきわめて悪かった。そして、9月は連続した台風（21号、24号、25号）の影響で、取扱数量は前期比5%程度減少。

不作を背景に葉物野菜、大型重量野菜、果菜類などの単価は、過去の平均値より5～8%上がった。

【北海道胆振東部地震の影響】

地震発生の日朝、競りは行ったが、停電のため、配送センターが機能不全となり、市場から量販店に出荷できなかった。

また、7日は営業ができないなど、地震発生後の2日間とその後の1週間は苦戦し、9月の売上は前年比で大きく落ちた。

◆卸売業（鮮魚魚介卸売業）（道央地域）

【最近の売上状況】

消費者の魚離れ、調理離れが進んでいる中、近年はイカ、サンマ、秋鮭、ホタテなどの大衆魚の不漁のための品不足、高騰といった打撃も受けている。

今期のサンマは好調だったため、単価は下がったが、形が大きく売上げは前年を上回った。一昨年の台風の影響で、減少していたホタテは回復基調であり、上向き傾向にある。

【北海道胆振東部地震の影響】

9月6日～7日は競りが中止となり、損失がでた。

特に秋鮭の時期であり、前半は前期より売上が伸びたが、競りの中止や物流の混乱により後半は減少した。

また、ホテル、飲食店での水産物の需要が多くあるが、地震による観光客のキャンセルや予約減少が今後も続けば、水産物の需要にも影響が出てくることを懸念している。

◆卸売業（酒類卸売業）（道央地域）

【最近の売上状況】

人口減少、高齢化、団塊世代の退職、若者のお酒離れにより、酒類の需要は年々減少している。昨年6月の酒税法改正により、スーパー等でのビールの安売りが規制されたため、発泡酒や第3のビールへシフトしたが、利益改善はされたと感じている。

【北海道胆振東部地震の影響】

停電により、メーカーの生産停止や物流の混乱で品切れが発生した。

また、地震後の観光客の減少、道内でのイベントの自粛ムードや開催期間の短縮などで需要は減り、9月の売上は前年同月比1割以上減少した。

◆観光業（宿泊業）（道央地域）

【最近の売上状況】

堅調な観光客の伸びや宿泊単価の上昇もあり、4月以降、売上は前年比で伸びていたが、9月は地震による影響で本州からの避暑目的の旅行客やインバウンドなどのキャンセルが多数生じ、売上は前年同月比4割減少するなど、非常に厳しい状況。

【先行き】

11～12月は風評被害もあり、前年と比べると予約が大幅に落ちている。

10月1日からスタートした国の北海道観光支援策である宿泊クーポンや割引ツアーの「ふっこう割」による観光需要の巻き返しに期待している。

◆製造業（鉄鋼業）（道央地域）

【最近の売上状況】

道内の建築需要は中長期的に堅調が見込まれ、建築、土木工事の補強材である鉄筋コンクリート用棒鋼の売上は持ち直している。しかし、鉄骨へのシフトもあり、同棒鋼の需要は減少傾向にある。

【北海道胆振東部地震の影響】

停電、節電の影響で9月の生産量は当初計画より減少したが、10月に取り戻せると考えている。

【製鋼経費の上昇】

電気料金が高止まりしていることに加え、製鋼工程段階の輸入材料の価格が大幅に上昇しており、価格転嫁せざるを得ない状況にある。

◆建設業（道央地域）

【最近の売上状況】

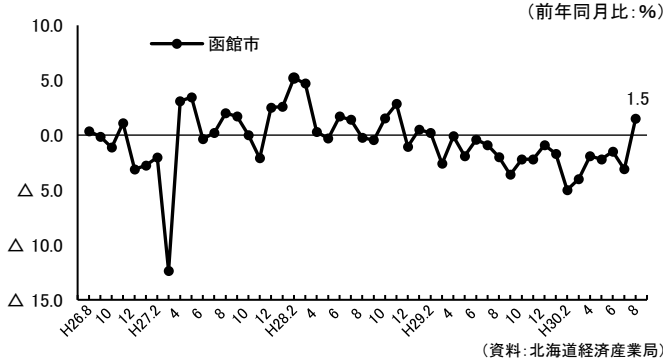
今年度は、ダム、新幹線のトンネル工事などの土木工事や、リゾート開発、病院、学校改修などの建築工事の売上が、例年と同じくらいの水準だが、人手不足による協力会社の労働者の賃金上昇、鉄鋼などの原材料費の上昇で特に建築事業の利益が減少傾向にある。

[地域の経済動向]

■道南地域(渡島、檜山)

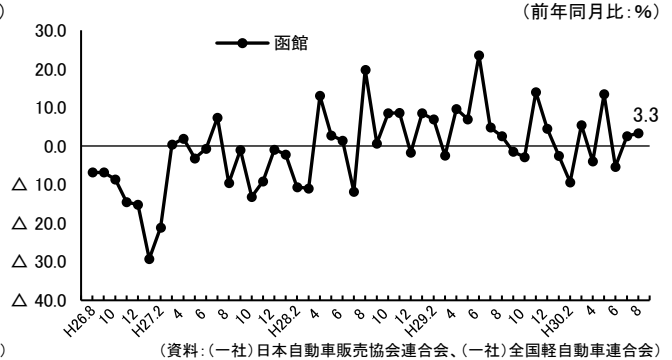
◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース)(8月)

18か月ぶりに前年を上回った



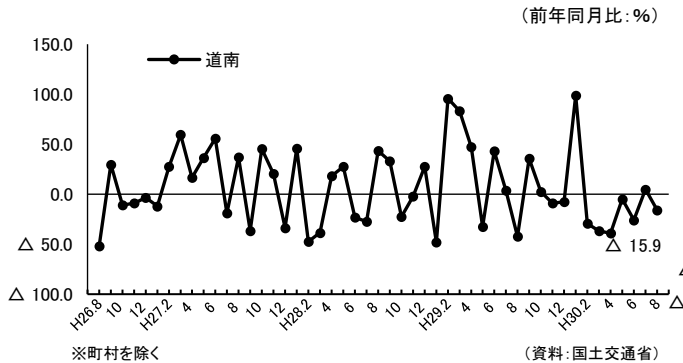
◆新車登録台数(乗用車)(8月)

2か月連続で前年を上回った



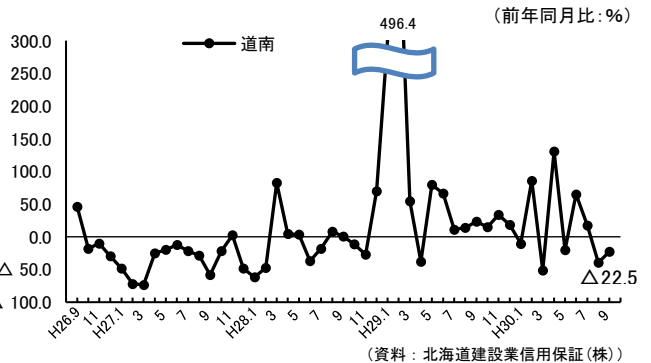
◆新設住宅着工戸数(8月)

2か月ぶりに前年を下回った



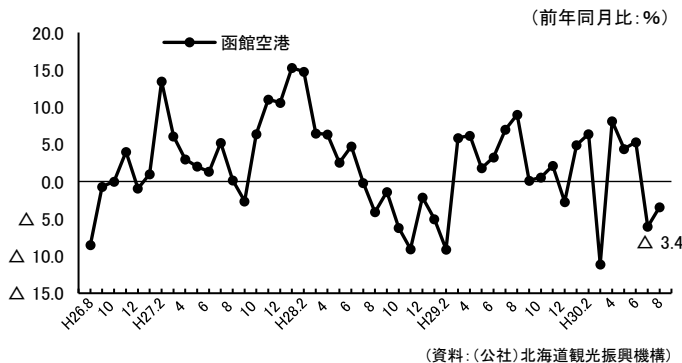
◆公共工事請負金額(9月)

2か月連続で前年を下回った



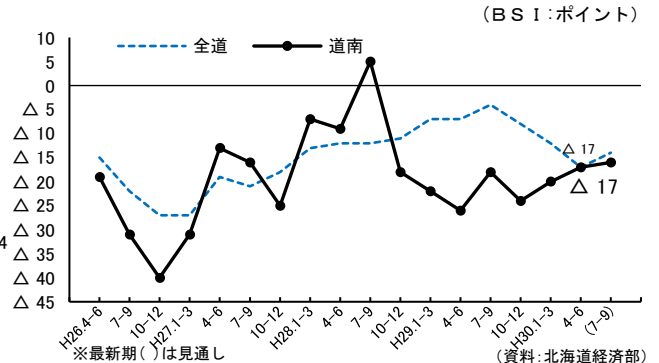
◆航空機利用による来道者数(着地別)(8月)

2か月連続で前年を下回った



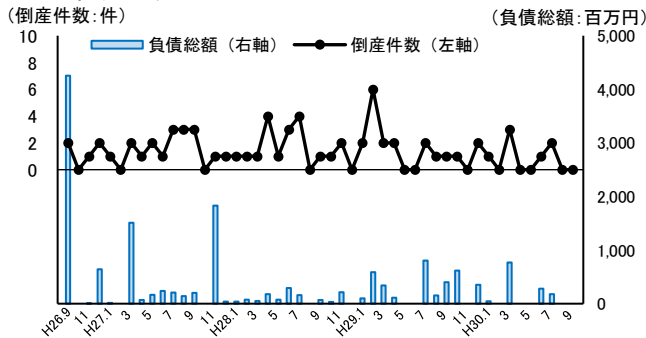
◆企業の業況感(4-6月期)

前期からマイナス幅が縮小した



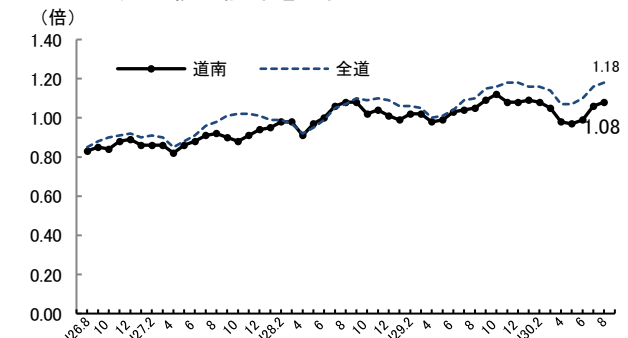
◆企業倒産件数・負債総額(9月)

倒産は発生しなかった



◆有効求人倍率(常用)(3月)

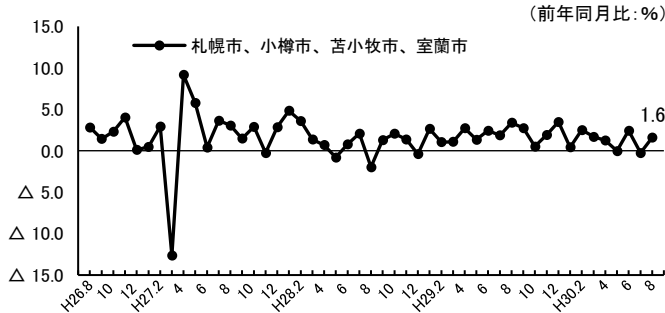
2か月連続で前年を上回った



■道央地域（石狩、空知、後志、胆振、日高）

◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース) (8月)

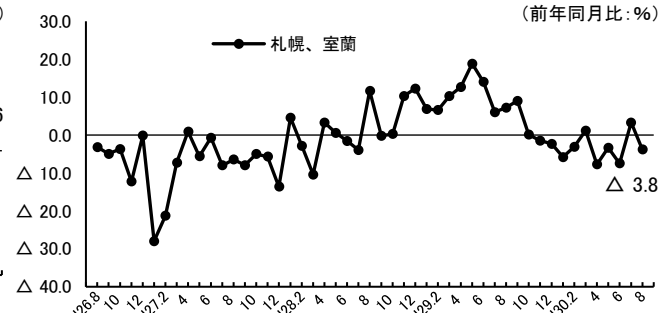
2か月ぶりに前年を上回った



(資料:北海道経済産業局)

◆新車登録台数(乗用車) (8月)

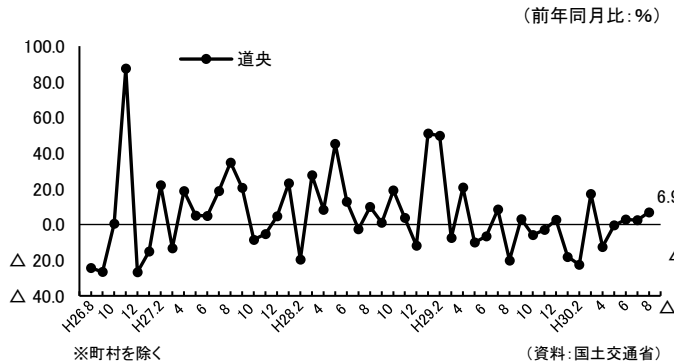
2か月ぶりに前年を下回った



(資料:(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会)

◆新設住宅着工戸数 (8月)

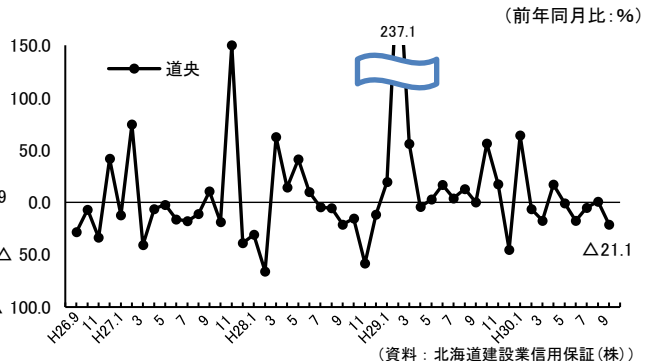
3か月連続で前年を上回った



(資料:国土交通省)

◆公共工事請負金額 (9月)

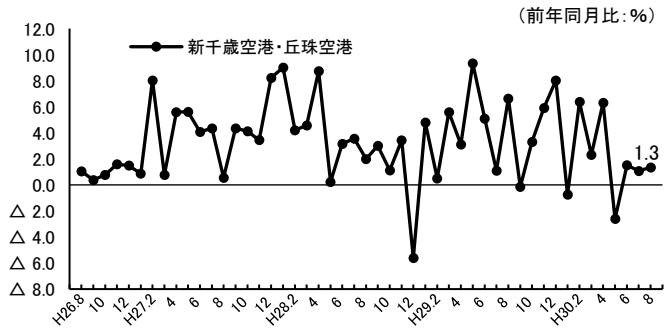
2か月ぶりに前年を下回った



(資料:北海道建設業信用保証(株))

◆航空機利用による来道者数(着地別) (8月)

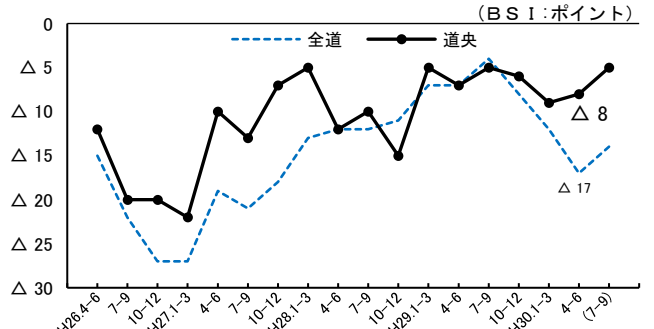
3か月連続で前年を上回った



(資料:(公社)北海道観光振興機構)

◆企業の業況感 (4-6月期)

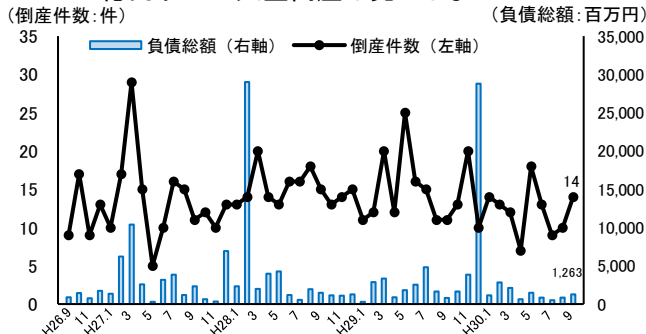
前期からマイナス幅が縮小した



(資料:北海道経済部)

◆企業倒産件数・負債総額 (9月)

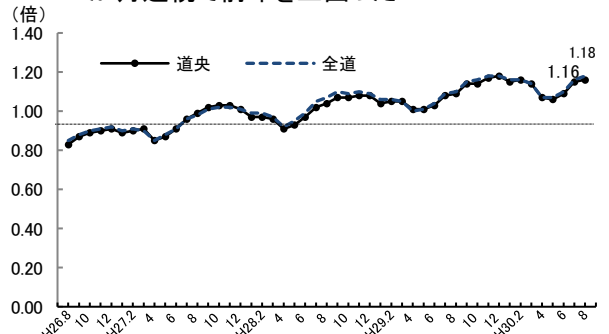
10億円以上の大型倒産は発生しなかった



(資料:(株)東京商工リサーチ北海道支社)

◆有効求人倍率(常用) (8月)

102か月連続で前年を上回った

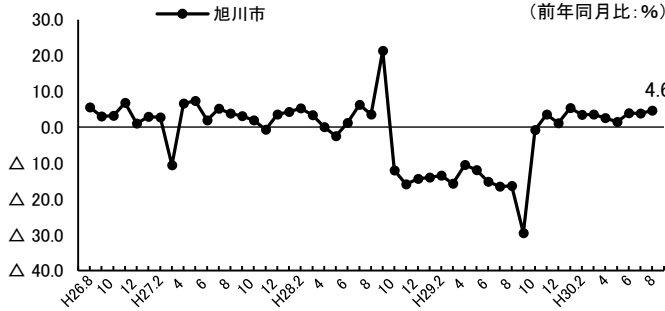


(資料:北海道労働局)

道北地域(留萌、上川、宗谷)

◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース)(8月)

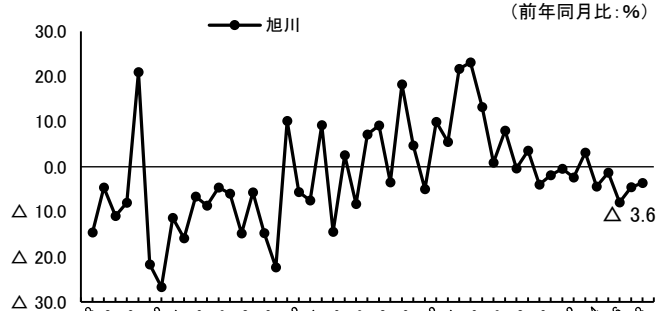
10か月連続で前年を上回った



(資料:北海道経済産業局)

◆新車登録台数(乗用車)(8月)

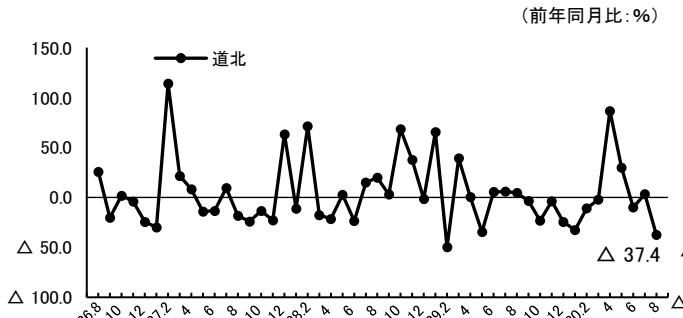
5か月連続で前年を下回った



(資料:(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会)

◆新設住宅着工戸数(8月)

2か月ぶりに前年を下回った

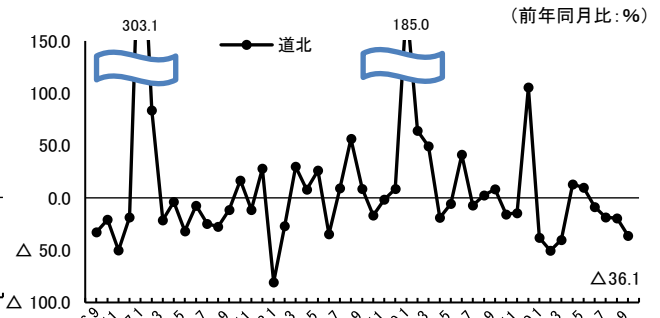


※町村を除く

(資料:国土交通省)

◆公共工事請負金額(9月)

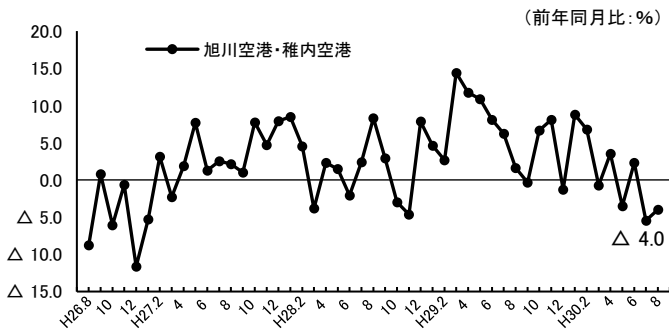
4か月連続で前年を下回った



(資料:北海道建設業信用保証(株))

◆航空機利用による来道者数(着地別)(8月)

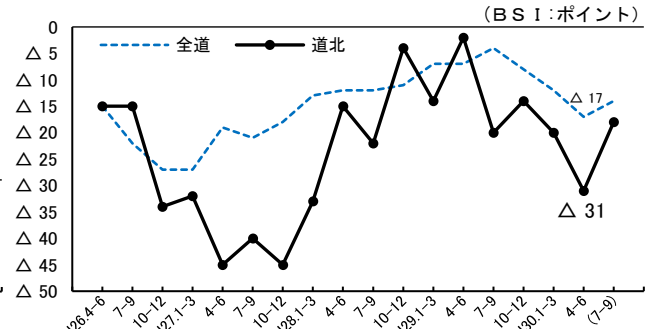
2か月連続で前年を下回った



(資料:(公社)北海道観光振興機構)

◆企業の業況感(4-6月期)

前期からマイナス幅が拡大した

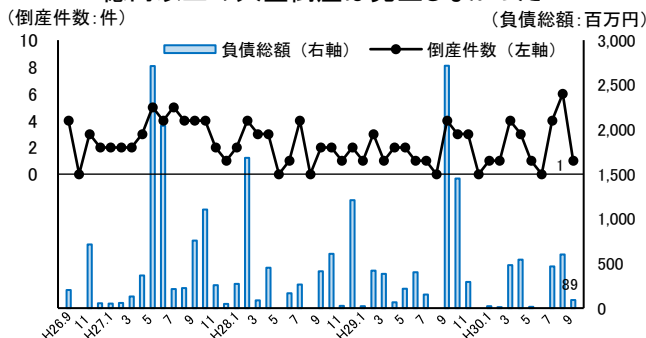


※最新期()は見通し

(資料:北海道経済部)

◆企業倒産件数・負債総額(9月)

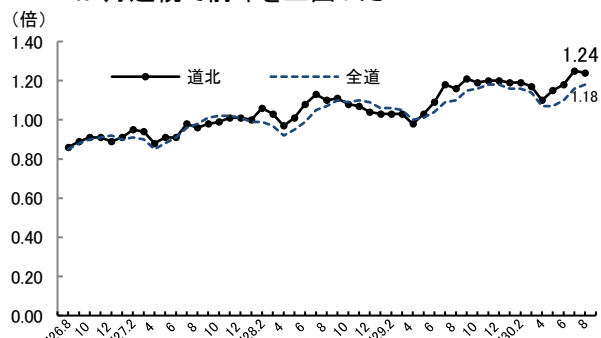
10億円以上の大型倒産は発生しなかった



(資料:(株)東京商工リサーチ北海道支社) - 13 -

◆有効求人倍率(常用)(8月)

17か月連続で前年を上回った

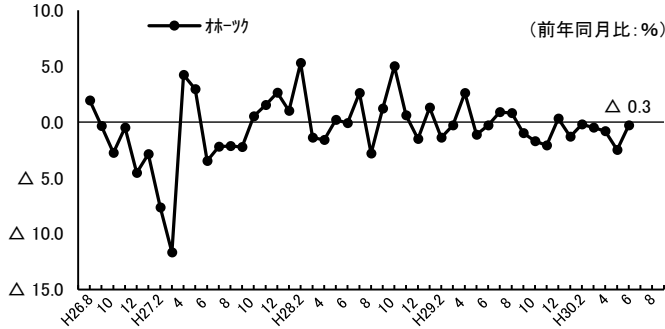


(資料:北海道労働局)

オホーツク地域

◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース) (6月)

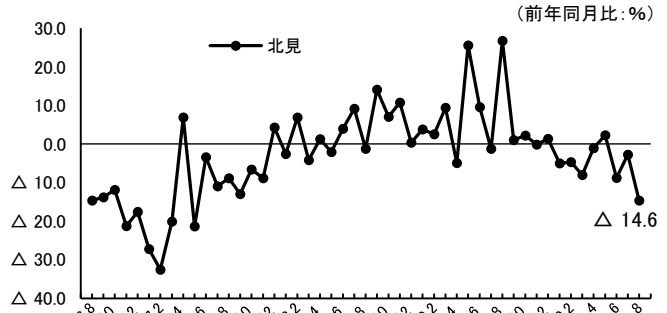
6か月連続で前年を下回った



(資料:北海道財務局北見出張所)

◆新車登録台数(乗用車) (8月)

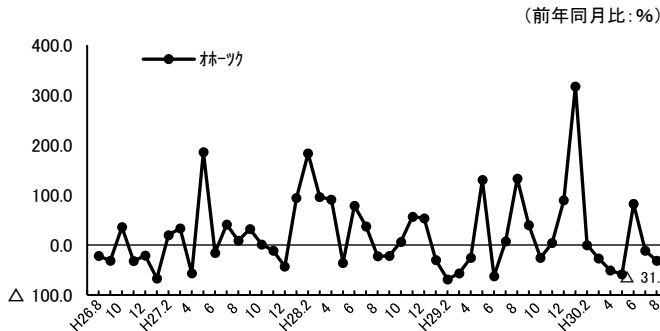
3か月連続で前年を下回った



(資料:(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会)

◆新設住宅着工戸数 (8月)

2か月連続で前年を下回った

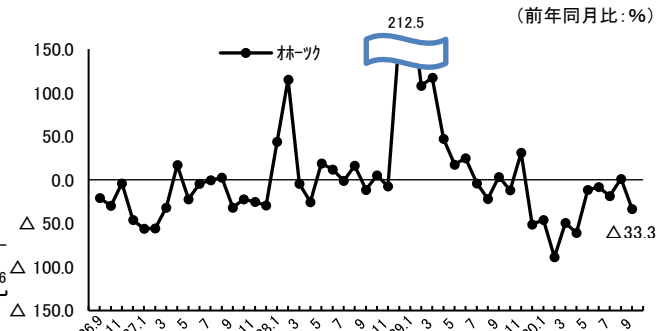


※町村を除く

(資料:国土交通省)

◆公共工事請負金額 (9月)

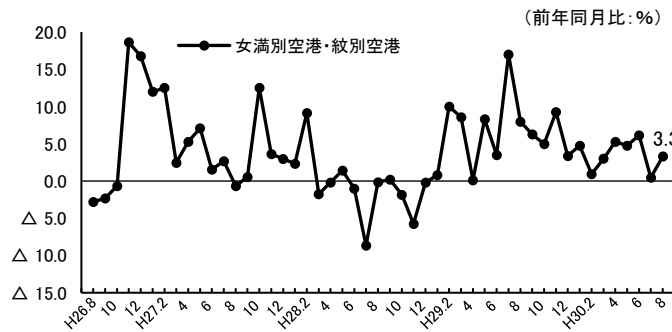
2か月ぶりに前年を下回った



(資料:北海道建設業信用保証(株))

◆航空機利用による来道者数(着別) (8月)

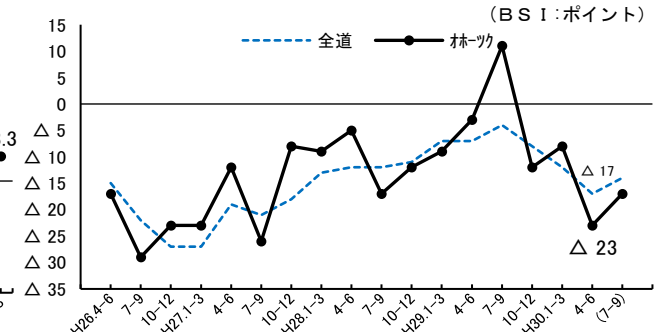
20か月連続で前年を上回った



(資料:(公社)北海道観光振興機構)

◆企業の業況感 (4-6月期)

前期からマイナス幅が拡大した

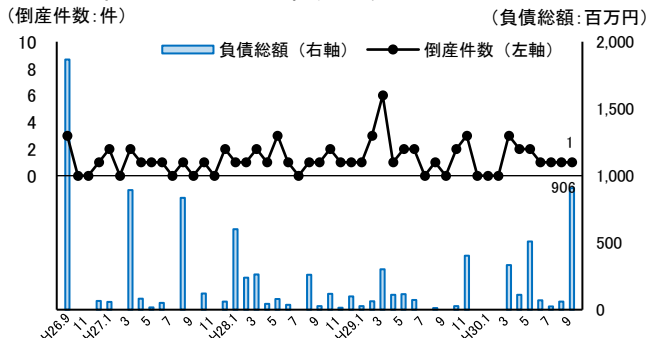


※最新()は見通し

(資料:北海道経済部)

◆企業倒産件数・負債総額 (9月)

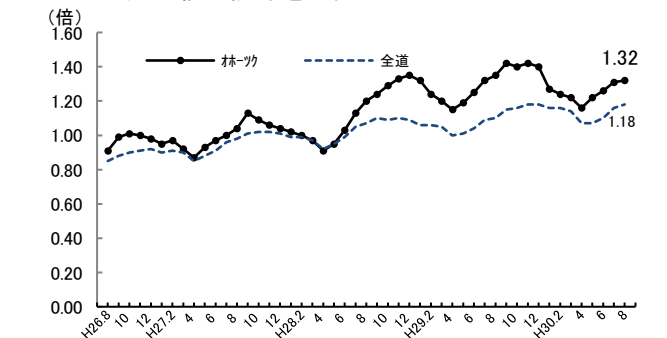
10億円以上の大型倒産は発生しなかった



(資料:(株)東京商工リサーチ北海道支社) - 14 -

◆有効求人倍率(常用) (3月)

2か月連続で前年を下回った

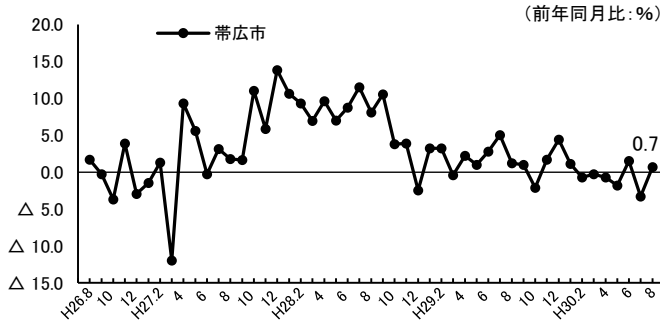


(資料:北海道労働局)

十勝地域

◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース)(8月)

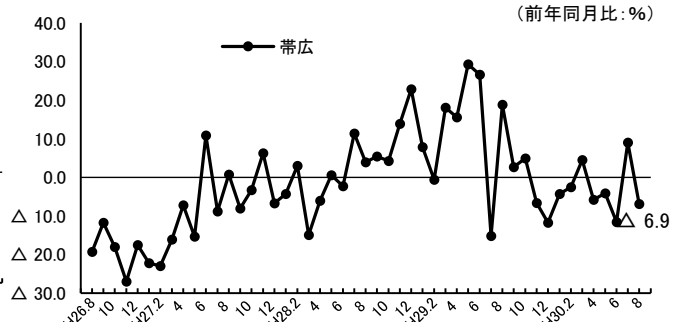
2か月ぶりに前年を上回った



(資料:北海道経済産業局)

◆新車登録台数(乗用車)(8月)

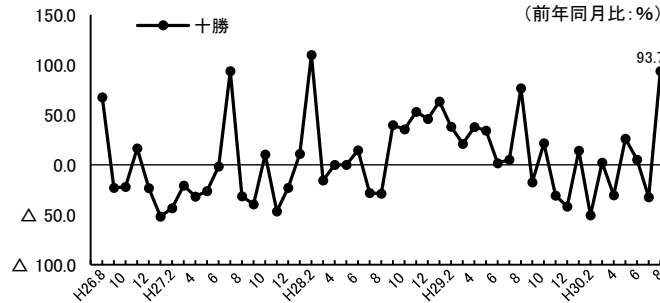
2か月ぶりに前年を下回った



(資料:(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会)

◆新設住宅着工戸数(8月)

2か月ぶりに前年を上回った

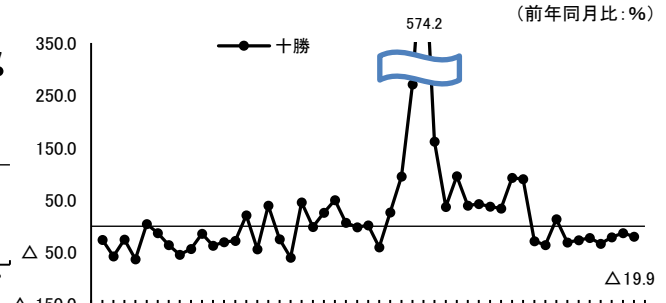


※町村を除く

(資料:国土交通省)

◆公共工事請負金額(9月)

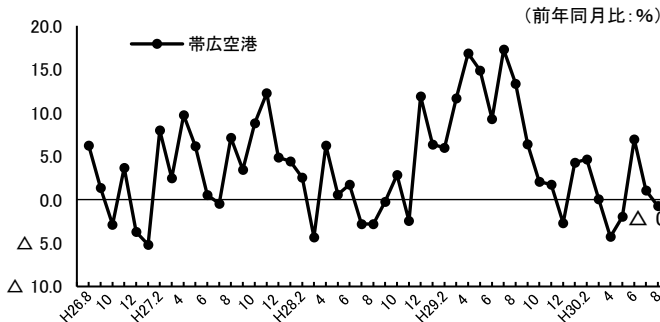
7か月連続で前年を下回った



(資料:北海道建設業信用保証(株))

◆航空機利用による来道者数(着地別)(8月)

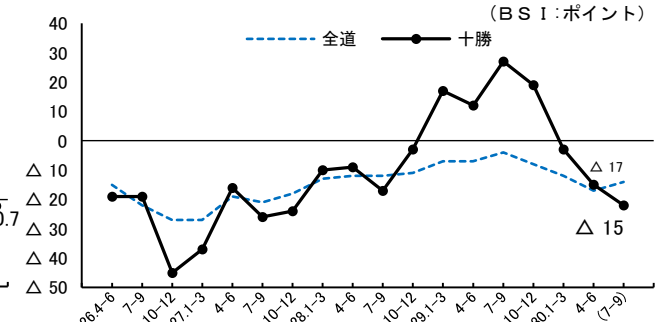
3か月ぶりに前年を下回った



(資料:(公社)北海道観光振興機構)

◆企業の業況感(4-6月期)

前期からマイナス幅が拡大した

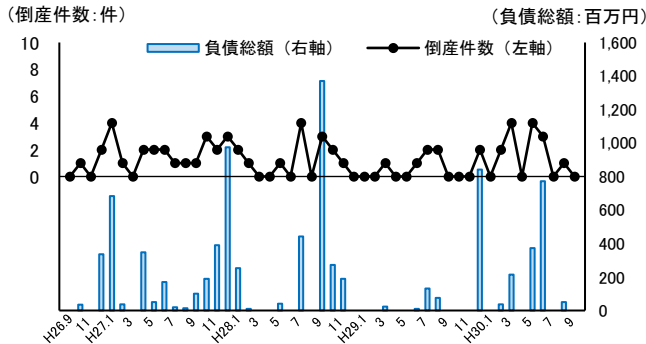


※最新期()は見通し

(資料:北海道経済部)

◆企業倒産件数・負債総額(9月)

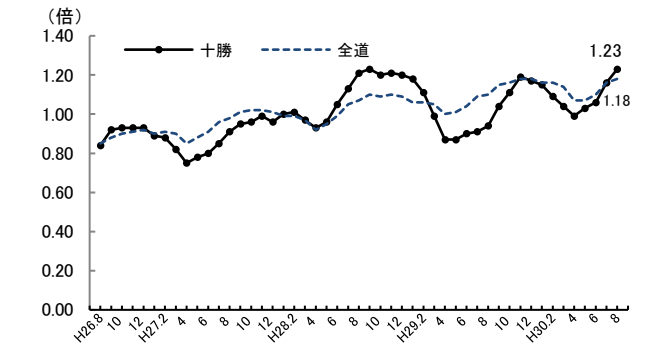
倒産は発生しなかった



(資料:(株)東京商工リサーチ北海道支社) - 15 -

◆有効求人倍率(常用)(8月)

6か月連続で前年を上回った

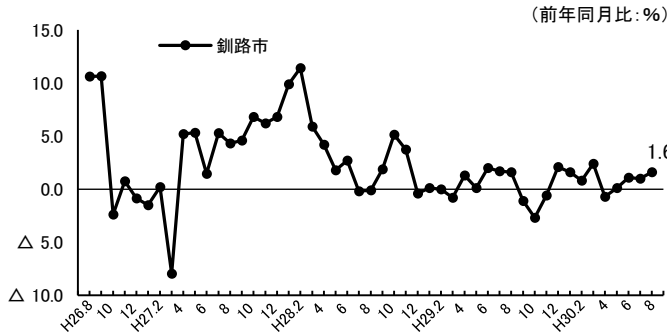


(資料:北海道労働局)

釧路・根室地域

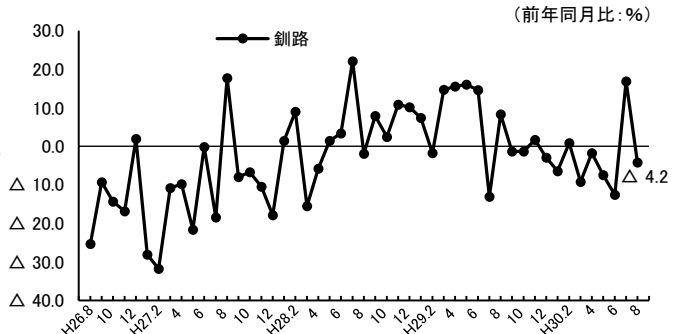
◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース)(8月)

4か月連続で前年を上回った



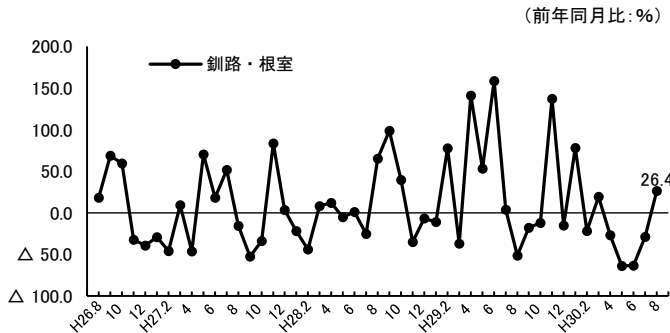
◆新車登録台数(乗用車)(8月)

2か月ぶりに前年を下回った



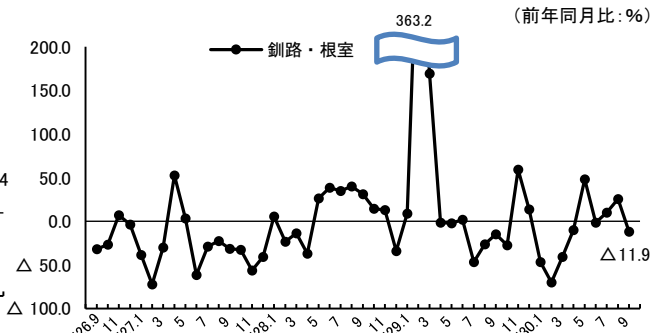
◆新設住宅着工戸数(8月)

5か月ぶりに前年を上回った



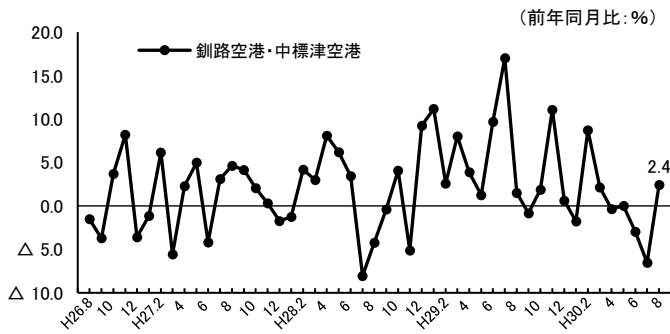
◆公共工事請負金額(9月)

3か月ぶりに前年を下回った



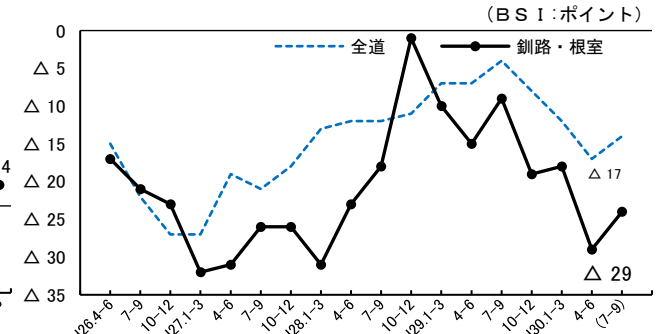
◆航空機利用による来道者数(着地別)(8月)

3か月ぶりに前年を上回った



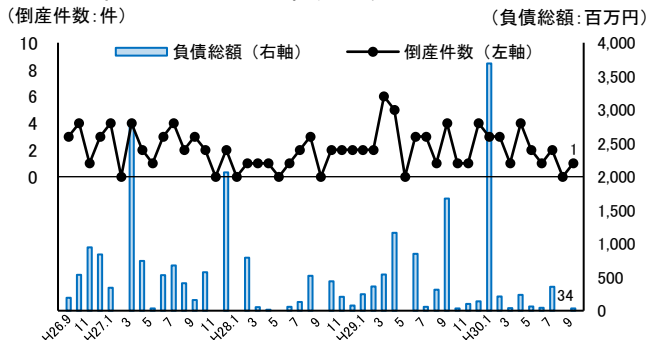
◆企業の業況感(4-6月期)

前期からマイナス幅が拡大した



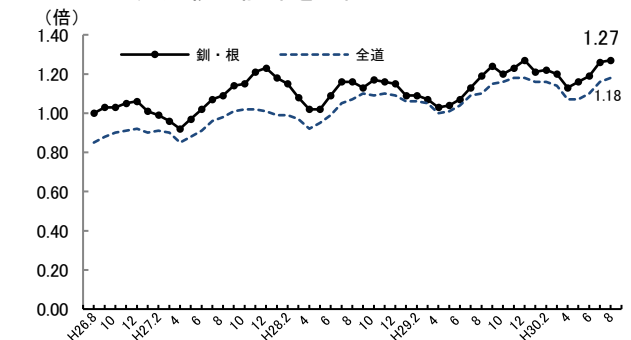
◆企業倒産件数・負債総額(9月)

10億円以上の大型倒産は発生しなかった



◆有効求人倍率(常用)(8月)

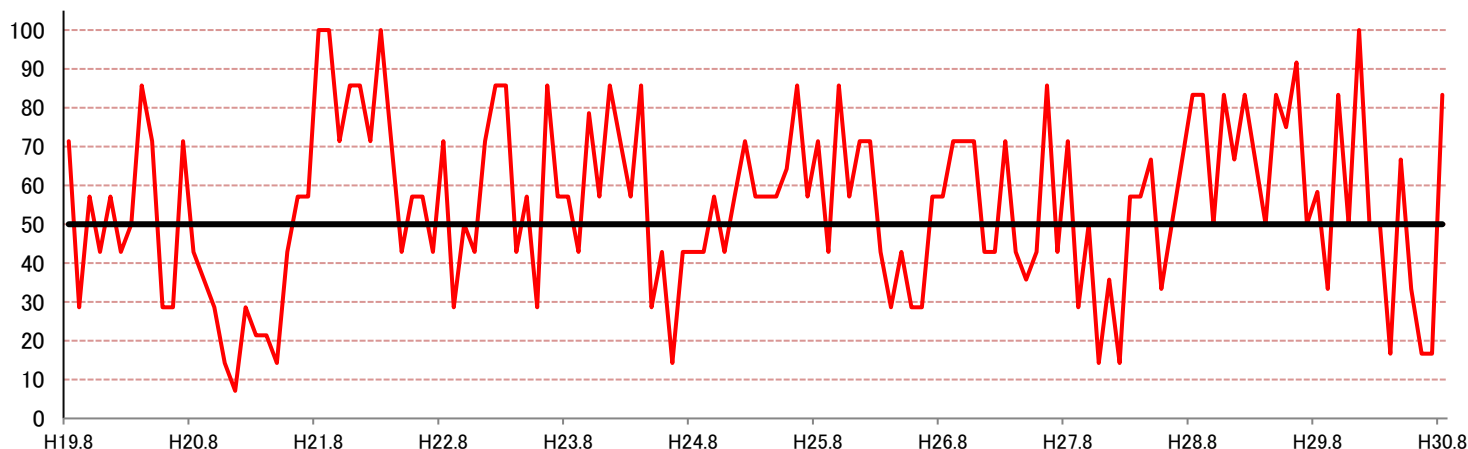
13か月連続で前年を上回った



[景気動向指数]

■ 北海道の景気動向指数

景気動向指数(一致系列)グラフ



景気動向指数(先行・一致・遅行)変化

系 列 名		29/ 8月	9月	10月	11月	12月	30/ 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
先 行 系 列	新規求人数(新規学卒を除く全数)	+	+	+	+	+	-	-	-	+	+	+	-	+
	雇用保険受給者実人員(逆サイクル)	+	-	-	+	+	+	+	+	-	-	-	-	+
	生産指数(生産財)	+	-	+	+	+	-	-	-	+	+	+	r -	p -
	新車登録台数(軽を含む乗用車)	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	-	-	-
	新設住宅着工戸数	-	+	-	+	-	+	-	+	-	+	-	-	-
	企業倒産件数(逆サイクル)	+	+	-	-	-	-	+	+	+	-	+	+	+
	企業業況判断D.I.	+	+	0	0	0	-	-	-	+	+	+		
	拡張系列数	5	4	2.5	4.5	3.5	2	2	3	5	5	4	1	3
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	6	6
	先行指数	71.4	57.1	35.7	64.3	50.0	28.6	28.6	42.9	71.4	71.4	57.1	r 16.7	p 50.0
一 致 系 列	有効求人倍率(新規学卒を除く全数)	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	+
	生産指数(鉱工業)	0	-	+	-	+	-	-	-	+	+	-	r -	p -
	出荷指数(生産財)	-	-	+	+	+	-	-	-	+	+	-	r -	p +
	百貨店販売額(既存店)	+	-	+	-	+	-	-		+	-	+	r -	p +
	着工建築物数(鉱業、建設業用+製造業用)	-	-	-	+	+	+	+	-	-	-	-	-	+
	輸入通関実績(原油及び粗油を除く)	+	+	+	-	+	+	+	-	+	-	-	r +	p +
	拡張系列数	3.5	2	5	3	6	3	3	1	4	2	1	1	5
	採用系列数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
一致指数	58.3	33.3	83.3	50.0	100.0	50.0	50.0	16.7	66.7	33.3	16.7	r 16.7	p 83.3	
遅 行 系 列	常用雇用指数(規模30人以上)	+	+	+	+	+	-	-	-	+	+	+	-	
	完全失業率(逆サイクル)	+	+	-	-	-	+	+	+	-	-	-		
	消費者物価指数(総合)	+	-	-	-	+	+	+	+	-	-	-	+	+
	家計消費支出(二人以上の勤労者世帯)	+	+	+	-	-	+	-	+	-	+	-	+	+
	生産指数(資本財)	+	-	+	-	+	-	+	+	+	+	-	r -	p -
	拡張系列数	5	3	3	1	3	3	3	4	2	3	1	2	2
	採用系列数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	3
	遅行指数	100.0	60.0	60.0	20.0	60.0	60.0	60.0	80.0	40.0	60.0	20.0	r 50.0	p 66.7

(注) 1 北海道経済部経済企画局経済企画課試算。pは速報値、rは確報値。

2 景気動向指数(Diffusion Index 略してDI)は、景気に敏感な諸指標を選定し、そのうち上昇(拡張)を示している指標の割合を示すものであり、景気局面の判断、予測と景気転換点(景気の山・谷)の判定に用いる。採用系列の各月の値を3カ月前の値と比較して、増加した時には+を、保合いの時には0を、減少した時には-をつける(変化方向表)。その上で、先行、一致、遅行の各系列群ごとに採用系列数に占める拡張系列数(+の数)の割合(%)をDIとする。

DI=拡張系列数/採用系列数×100(%) (保合い(0)の場合は0.5としてカウントする。)

最近の経済動向
平成30年10月号

編集・発行 北海道経済部経済企画局経済企画課

TEL 011-204-5139

「最近の経済動向」のデータ集は、北海道のホームページでご覧になれます。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/ksk/tgs/saikin-doukou.htm>